



作品：Hikari gaoka & Kawawa 題字：Nakahara Manami

FHS ネットカブカブ

新会員募集と継続加入のお願い

「やまなし」は、NPO法人カブカブの後援会「FHS ネットカブカブ」の通信です。
カブカブの活動を支援する仲間を広く募集しています。

- 年会費 1000円以上任意の金額
- 振込先 ゆうちょ銀行の振替貯金（旧郵便振替）
00290-2-36249
- 所在地 〒241-0001 横浜市旭区上白根町891-18-4-103 カブカブ内
(TEL045-953-6666/fax 045-442-3220)
- HP kapukapu.org
- メール kouenkai@kapukapu.org



ひかりが丘は職員の体制が変わり昨年度はとってもバタバタ…みんなにたくさん迷惑をかけました。それでもこれまでいろんな経験をしてきたメンバーは慌てず動じず。そんな頼もしい皆さんに助けられ、無事に1年を乗り切ることができました。



今までの積み重ねも大事にしながら、新しい展開にも積極的にチャレンジ。日中の活動にヨガや映画鑑賞の時間を設けたり、買い物など外出できる機会も増やしました。喫茶利用やワークショップを通して竹山や川和とも交流を深め、フリーマーケットなど地域のイベントにも積極的に参加して、ひかりが丘は今日も笑いが絶えず元気に営業中です！



現場は約30年、同じ所は一つもなく…みんな違ってみんないい♪



新職員 紹介

はじめまして。去年の7月からひかりが丘

コーヒーと音楽と自然が大好きな山育ちでいくつになっても冒険心は常にあり！

笑顔が生まれる場所が大好きです♪

おもちゃ箱のようなカプカプの仲間に入れてもらい、毎日楽しくお仕事させてもらっています。メンバーさんの笑顔に元気をもらい、メンバーさんのパワーに負けないようにほどよく！頑張ります。

どうぞよろしく

お願いします。





リユース & リスペクト… とか

文責 海老原克憲

皆さんご存じの通り、竹山団地の商店街にあるカプカプ竹山は喫茶営業と並行してリサイクルバザー品の販売（ひかりが丘も）を行なっています。リサイクルと言った方が理解されやすいのでそのまま使っていますが、正式にはリユース（再利用）ですね。竹山団地やその周辺の地域の方々からほぼ毎日のように持ち込まれ、その内容は多岐にわたり、衣類や書籍、食器類をはじめ、手芸品や文房具、時には五月人形や

ら不思議な？モノまで多種多様です。

お受け取りの際に寄付品の確認をさせていただき、手作りの「ありがとうカード」をお渡しして、10枚集めるとコーヒーが無料、ですからまたお持ちください…といった感じで。検品して、特に食器類はメンバーさんやスタッフで手分けして洗ってから手書きの値札をつけて店頭に並べています。

ところがここには寄付していただく側と、受け取る側との間に見えない攻防があって、電化製品は動作保証ができないのでNG、シーズンオフの衣類は保管場所がないのももう少し寝かせてからとか、企業や自治体のノベルティグッズは値段がつけられないとか（某アベノマスクも含めて）、お受け取りが難しい商品もあるのです。それでも袋の奥の方にこっそり忍ばせてあったりとか、ありがとうカード目当てに1点ずつ持ち込まれたりとか、いろいろな人たちがいる訳ですよ。

また、値段設定も高すぎず、安すぎず、購買意欲をそえられる程度のお値段でご提供しています。新商品が並ぶと通りすがりに横目でチェックされているようで、特に年金支給日は売り上げアップ。バザー品の販売や受け取りを通して、地域の高齢化問題、買い物難民、相対的貧困といった社会の縮図を垣間見ることができ、毎日が勉強です。そして面白いのが、メンバーさんに「おきゃくさん」と呼ばれて駆けつけてみると、小銭だけが置かれていて何が売れたのか分からないといったことや、メンバーさんに寄付品を預けてそのまま立ち去ってしまう方とかもいて…でもそれはメンバーさんらが地域に溶け込んでいて、地域の皆さんも分け隔てなくお相手してくださっている裏返しかな？というリスペクトも込めて、敢えてご紹介させていただきました。

最近は神大カフェをはじめとする神大サッカー部の関連施設が商店街に増え、メディアに登場する機会も多くなりました。特に若い男子学生がオバサマたちのハートを鷲掴み？にしているようで脅威な存在ではあるのですが、それぞれ別の役割を担っているのだらうと割り切って、今年もボチボチやっていきたいと思っています。





人事異動により、2024年度からカプカプ川和の所長になりました新楽（にいら）です。大学生時代のアルバイトからカプカプ竹山、川和といるのでカプカプ歴はそれなりですが、人生歴としてはまだまだひよっこのため、メンバーさんやご家族、諸先輩方に育てていただいてなんとかやってまいりました。



所長1年目なので、あまり仕事をつめないよう、余裕をもって過ごすように決意はしたものの、次から次へと舞い込んでくる楽しいお仕事たちに、メンバーたちのやる気も加わり、振り返るといろいろなことをしたなぁと思っている。

年末ごろに川和小学校の先生の訪問。「総合的学習で福祉を学ぶ4年生と一緒に何かしませんか。」と。福祉ってなんだ？障害って？子どもたちに説明できるような言葉はいくら時間をかけても出てこない。

結局のところ3回交流学习が行われ、最終回ではみんなで絵の具まみれになり、体育館を全力ダッシュでグルグルし、「また一緒にあそぼうねー！」「こんどは一緒にカレーつくろうねー！」などと言葉を交わして終了した。

おそらくこどもたちも福祉って？障害って？の答えは言葉で説明できるような確かなものはつかめていないだろう。ただ今回のカプカプ川和との思い出がこれからの人生の中で助けやヒントや気づきになったらうれしい。

カプカプ川和が地域でできることはやはり日常の中にたくさんあふれている。地域にたよってたよられて…そう過ごしていく中に私なりの福祉って？の答えをカプカプのみんなと見つけていきたい。



こんにちは、

理事長の添田です。

昨年4月より久しぶりに旭区で

働くことになりました。すぐある人より、カプカプの話をいただき、いつの間にか「理事長のイス」が用意されていました。20数年カプカプには大変お世話になりました。恩返しではありませんが、このカプカプを所長、職員、ボランティア、地域の皆さんと共に盛り上げていけたらと思います。

自分は食えることが何より楽しみです。早速カプカプ川和のカレーライスを食べました。おいしい！しかも安い！思わず「これって安くない」と言ってしまう。また竹山ではミートソースもあるそうですし、クッキーなどのお菓子もありこれから一つ一つ味わせてもらいます。また、食だけではなく芸能についても興味があり、皆さんの個性あふれる作品がもっともつと皆さんに知っていただけたらと思います。

少しでもお手伝いができるように頑張っていきたいなあと思っています。みんな仲良く、そして楽しく、やりがいを持っていてほしいですね。ひかりが丘、竹山、川和それぞれの地域に「福祉の花」を咲かせたいなあと思っています。これからよろしく願います。



こんにちは、事務局の志賀です。

今年度は常勤職員の異動や役員の変更があり、組織が大きく変化しました。上半期はその対応に追われ、慌ただしく過ぎた印象です。下半期に入り体制が次第に整い、12月には法人研修を実施することができました。今年の研修は「グレーゾーン」をテーマにしたグループ演習を行い、カプカプ川和を会場に約30名のスタッフが集まり、活発な議論が繰り広げられました。



また、今年度は報酬改定もありました。生活介護では減算がある一方で、通知を詳しく確認したところ、新たな加算を取得することができました。制度の複雑化により、加算取得の方法が分かりづらくなっているため、積極的に情報収集を行い、他事業所とも連携しながら、加算の取りこぼしがないように努めていきたいと思っています。